

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム福ら舎

作成日 : 平成 24 年 3 月 27 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	夜間1名体制時等、ベッドからの転落のリスクの高い利用者に対して、4点ベッド柵を入眠時のみ行っている。本人が覚醒したら即座に柵を外し、行動の制限をしないように対応してはいるものの、4点柵が身体拘束になる為、改善していきたい。	やむを得ずベッド柵を使用した際の記録をきちんと行う。又ベッド柵を使用しない代替案の検討を継続して行う。	ベッド柵を使用しない方法でベッドからの転落を防ぐ方法を検討する。家族へは口頭のみではなく文書にてベッド柵の使用の確認を行う	12ヶ月
2	35	隣接する民家も少なく、近隣住民も高齢の方が多く、災害時に協力を依頼するには厳しい環境の為、避難訓練の際、地域の協力が得られにくい。	避難訓練を地域の協力を得ながら行いたい。	地域で行われる避難訓練等があれば、事業所全体で参加する。	12ヶ月
3	4	運営推進会議を2か月に1度の開催に向けて取り組みたい。	負担にならないような方法での家族の参加を提案し、会議への参加を促していきたい。	入居者家族に対し文書及び口頭で運営推進会議の意義についての説明を継続し、参加率向上に努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。